

会員の
交流と
切磋琢磨

育英と地域振興の活動を続けて
130年
置賜若人の夢を支援

奨学金
と
学生寮

置賜への
郷土愛

先人顕彰コーナー 公益社団法人 米沢有為会 創立 130 周年記念

「有為会 130 年の歩み」展

今から 130 年前の明治 22 年 (1889)、後に米沢名誉市民第 1 号となる建築家伊東忠太ら在学生 6 名によって設立された有為会が、翌年には青壮年会員 429 名の全国的な同郷人親睦団体に発展します。そして、同郷学生を経済的に支援する志で、東京・仙台等に学生寮を開設、奨学金貸与制度を發展させ、育英団体に成長しました。

郷土愛と人の交流を基盤に、育英と地域振興の活動を続ける米沢有為会 130 年の歩みをたどります。

2019年 5.24 (金) ~ 6.26 (水)

会場 ナセBA 中二階 先人顕彰コーナー

主催 公益財団法人米沢上杉文化振興財団 共催 公益社団法人米沢有為会



↑伊東忠太デザインの「米沢有為会雑誌」



↑現在の「米沢有為会雑誌」

ナセBA

Book & Art Association